

第2章 食育推進の基本的な考え方

1 宜野湾市における食育推進のめざす姿

食育推進の目的は、市民一人ひとりが、食を通して健全な心と体を培い、豊かな人間性をはぐくんでいくことにあります。これは、市民が健康で文化的な生活の基礎となるものであり、ひいては地域の活力、本市の活力の源となるものです。食育は大人だけの問題ではなく、未来を担う子どもたちの食育も重要であり、子どもの保護者等、大人の関わりが欠かせません。子どもを中心として子どもが接するさまざまな場面で「食をはぐくむ（食育）」ことが重要です。

本市の食育推進にあたっては、家庭だけでなく、地域や学校、食育関係団体、事業所、関係機関などの取組と本市の施策を総合的に捉え、食を通して人や地域がつながることが重要です。また、様々な食育の主体とのつながりによる食育を通じて、市民一人ひとりが健康や食育に気づき・学び、市民一人ひとりが自ら実践し、健康で笑顔のまち・ぎのわんの実現を目指して、手間をかけて地域に根づいた取り組みを育み・続けることが大切となります。

また、平成25年12月に「和食」が無形文化遺産に登録決定されるなど、市民一人ひとりが健康的な食生活を営むうえで大切なことは“健康はバランスのよい食事から”ということに気づかされます。さらに、食の大切さや食の乱れから生じる様々な問題に対して、“家族みんながそろった「楽しい」食卓で”“心身ともに「おいしい」食事を通して”“みんなが元気で「うれしい」”を実感する食育が求められています。

こうした観点から、本市の食育推進のめざす姿を下記に示します。

「市民一人ひとりの健康は食事から

「楽しい・おいしい・うれしい」を広げよう 食育の環！」

～食を通して、みんながつながる 笑顔のまち・ぎのわん～



2 めざす姿を具体化する3つの基本目標

めざす姿を具体化するため、以下の3つの基本目標を定め、食育の推進を図ります。

基本目標1：市民が食育の必要性を知り、健康で豊かな食生活を実践する

- 市民一人ひとりが、食に関する知識と食を選択する力を培い、健全な食生活を実践するように推進します。
- 食を通じたコミュニケーションの推進により、豊かな食生活の実現に取り組みように進めます。

基本目標2：食を通じた次世代を担う子どもたちが健やかに成長する

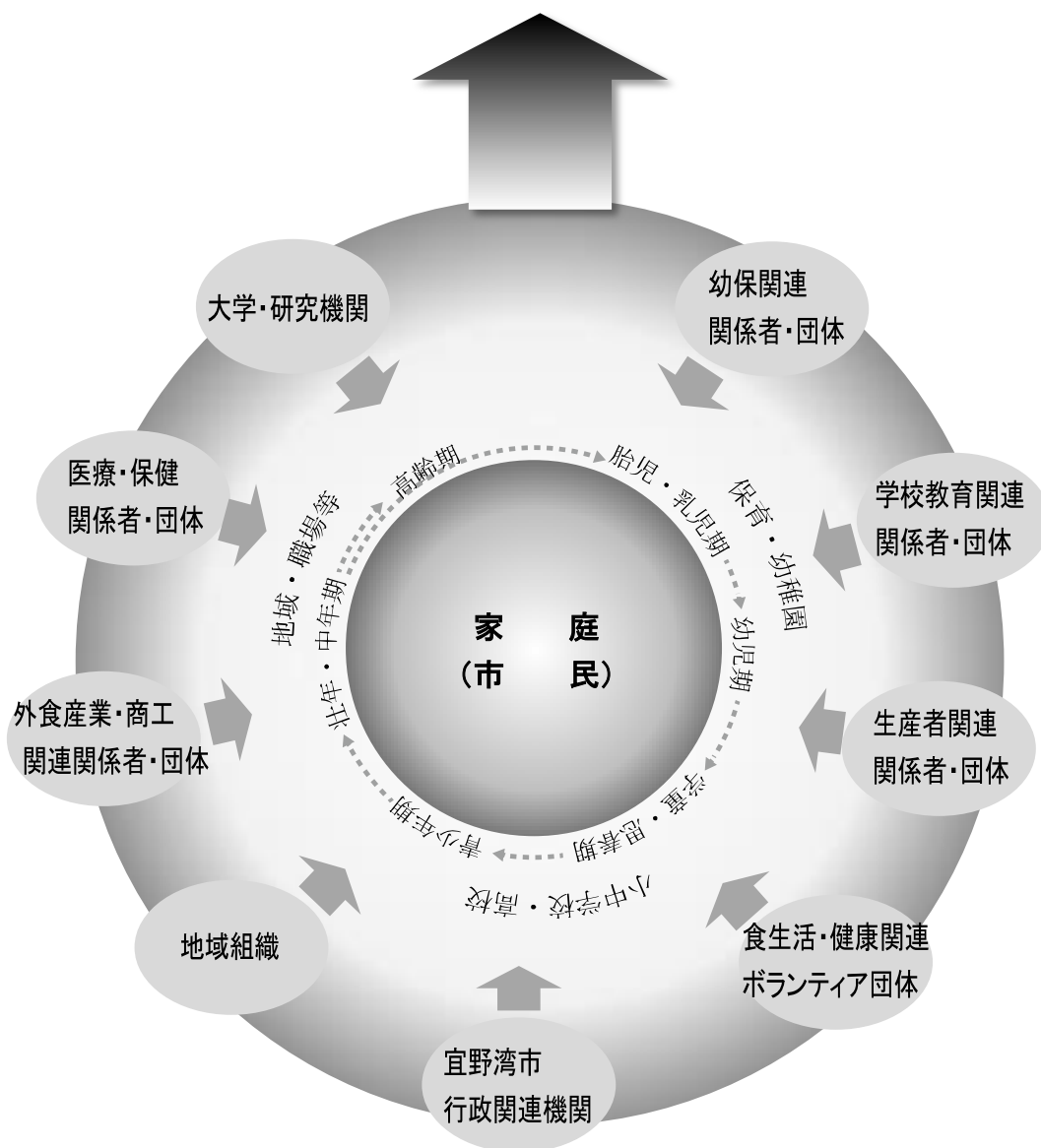
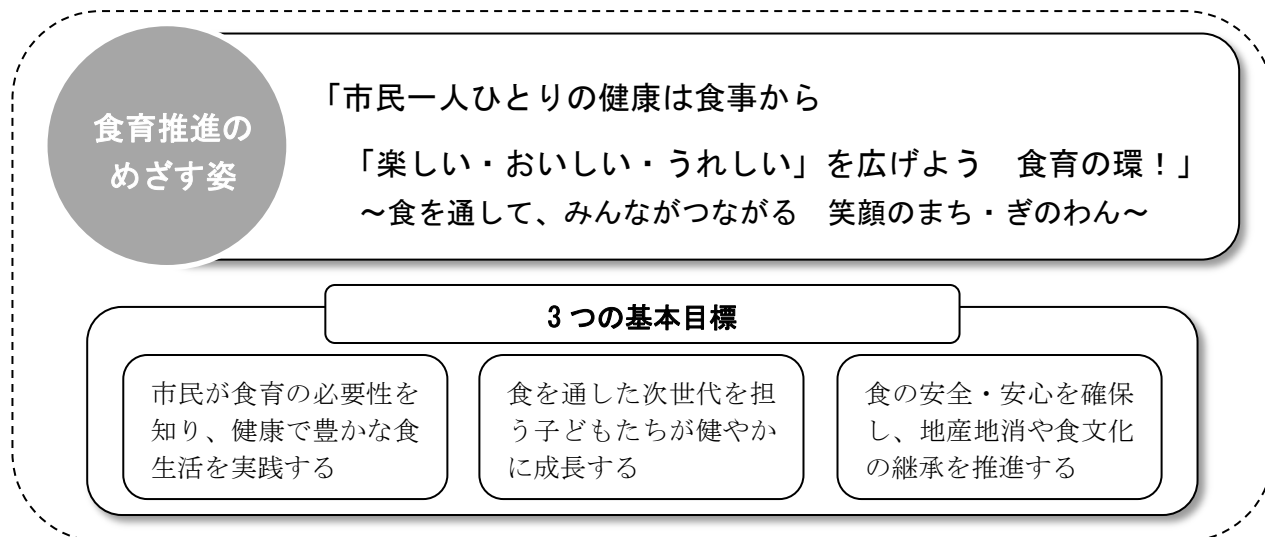
- 発達の段階に応じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、食に関して自立できる力を培えるように支援します。
- 家庭での子どもの食育を促進します。

基本目標3：食の安全・安心を確保し、地産地消や食文化の継承を推進する

- 食品の安全・安心の確保を図り、地域の農水産物や食文化を生かした食育を進めます。

めざす姿を具体化するための食育推進のネットワークの概念図を以下に示します、

食育推進のネットワークの概念図



3 食育推進にあたっての目標指標

めざす姿を具体化する3つの基本目標を踏まえ、本市における取組の成果を客観的に把握するため、以下の指標を設定します。

項目	指標	対象	市の現状 (基準値 H25)	目標値		把握方法
				中間目標値 (H30)	最終目標値 (H35)	
目標 1: 食育の 周知と 実践	①食育に関心を持って いる市民の割合	市民	85.8%	90%以上	90%以上	食育に関するアン ケート調査(市民)
	②朝食を「ほぼ毎日食 べる」市民の割合	市民 (男性、女性)	男性 69.9% 女性 77.0%	75%以上 84%以上	80%以上 90%以上	食育に関するアン ケート調査(市民)
	③朝食を「ほとんど毎 日」家族と一緒に食 べる市民の割合	市民	41.1%	45%以上	50%以上	食育に関するアン ケート調査(市民)
	④食生活改善推進員 の人数	食生活改善 推進員	51人 (H24)	60人	75人	食生活改善推進協 議会
	⑤ヘルシーメニュー提 供店の認証店舗数	認定店舗数 (飲食店)	なし	10店舗	20店舗	宜野湾市がヘルシーメ ニュー協力店を認定・登録 (新認定制度)する店舗
	⑥肥満者の割合	市民 (※40～60歳 代の男女別)	男性 40～60歳 43.1% 女性 40～60歳 30.1% (H24)	36% 25%	25% 19%	特定健診データ (国保)
目標 2: 未来を 担う子 どもの 健やか な成長	⑦食育に関する計画を 策定している保育所 の割合	公立保育所 及び認可保 育施設	100% (平成23年度) (公立3、私立15)	100%	100%	保育課資料
	⑧22時以降に就寝する 子ども(児童)の割合	小学5年生	41.7%	30%	20%	食育に関するアン ケート調査(児童)
	⑨7時以降に起床する 子ども(児童)の割合	小学5年生	15.2%	10%	5%	食育に関するアン ケート調査(児童)
	⑩朝食を「ほとんど毎 日食べる」子ども(児 童)の割合	小学5年生	89.8%	94%以上	99%以上	食育に関するアン ケート調査(児童)
	⑪朝食を「ほとんど毎日、 家族と一緒に食べる」 子ども(児童)の割合	小学5年生	41.7%	46%以上	51%以上	食育に関するアン ケート調査(児童)
	⑫保護者が食育につい て学ぶ機会(親子食 育講話の開催等)	就学前児童 の保護者 児童の保護者	現状値なし (未把握)	増加	増加	—
	⑬乳児健診後期の貧 血の割合	乳児後期の 貧血の割合	4.8% (平成24年度)	4.2%	3.5%	健康増進課(平成24 年度 乳幼児健康診 査報告書 沖縄県)
	⑭肥満傾向児の出現 率(ローレル指数)	小学5年生 男性 小学5年生 女性	7.1% 3.5%	6.0%以下 2.5%以下	5%以下 1.5%以下	教育委員会学務課 資料
目標 3 :食の安 全・安心 の確保、 地産地 消や食 文化の 継承	⑮市内での食中毒発生 件数	食中毒発生 件数	1件 (平成21～25年度平均)	減少	減少	中部福祉保健所 (生活衛生班)調べ
	⑯宜野湾市学校給食 (4センター全体)用 で使用している沖縄 県産の食材品目	学校給食で 使用してい る県産食 材品目	66品	71品	76品	学校給食センター
	⑰行事食や郷土料理 体験の取り組み回数	市民	現状値なし (未把握)	年1回以上	年1回以上	健康増進課、健康支 援課、介護長寿課、 生涯学習課、指導 課、学校給食セン ター、商工農水課 など